



熊谷次郎直実の像（熊谷駅前）

第116号

発 行 所

埼玉県熊谷市須賀広 784 番地
一般社団法人 埼玉県畜産会
〒360-0102

TEL 048-536-5281

FAX 048-539-1011

発 行 人

清 水 節 男

印 刷 所

ポプラ社印刷株式会社
深谷市人見242-3
TEL 048(572)9415



彩の国さいたま

目 次

1 会長挨拶	2頁
2 埼玉県農林部長就任の御挨拶	3頁
3 事業報告	
(1) (一社) 埼玉県畜産会 第70回通常総会開催	4頁
(2) 令和6年度 主要事業の概要	5頁
4 埼玉県からのお知らせ	
(1) 家畜保健衛生所機能強化事業について（畜産安全課）	11頁
(2) 特定家畜伝染病に備えた集合施設運営体制の整備（川越家畜保健衛生所）	12頁
(3) みんなにもっと知ってほしい！畜産のこと ～令和6年度の活動レポート～（熊谷家畜保健衛生所）	13頁
(4) 秩父高原牧場だより（秩父高原牧場）	14頁
5 牛乳消費拡大のため「地方競馬ミルクウィーク」に参加しました	15頁
6 桶川市べに花祭りで「桶川牛乳」を販売しました	15頁
7 第16回全日本ホルスタイン共進会が開催されます	16頁
8 イベント・行事予定	17頁
9 畜産団体の活動状況	18頁
10 一般社団法人埼玉県畜産会 役員名簿	20頁
11 (一社) 埼玉県畜産会事務分掌表	21頁
12 埼玉県畜産関係幹部職員名簿	22頁
13 浦和競馬	
Ⅰ 令和7年度（2025年度）南関東地方競馬開催日割	23頁
Ⅱ 浦和競馬へ行こう！	裏表紙



会 長 挨拶

一般社団法人 埼玉県畜産会
会 長 清 水 節 男

本県の畜産は、都市近郊に立地するなかにあつて、県民や首都圏住民に新鮮で安全な食肉や鶏卵、牛乳・乳製品等を安定的に供給しています。また、ブランド畜産物の生産、加工、販売の取組も盛んで豊かな食生活にも貢献しています。さらに、食に関する正しい知識等を学校や地域に提供する「食育の場」を担うなど、その役割は多岐にわたっています。

畜産経営は家畜改良や規模拡大、経営の合理化が着実に進んでおり、野菜や米に次ぐ本県の基幹的農業分野となっています。産出額も令和 5 年は280億円と増えており、農業全体の17%を占めています。

近年は、これまでの生産性向上の取組に加え、労働負担軽減や省力化に資するロボット・人工知能・I o T などの先端技術の導入による労働環境の改善にも力を入れています。

一方、国際的な穀物需要の増加や円安の継続等を背景とした飼料価格の高止まりにより、経営コストの増加が課題となっています。自給飼料の生産拡大に加え、耕種農家と連携した子実トウモロコシや飼料用稲・米の生産・利用拡大を推進していくとともに、稲わらを始め食品残さなどの未利用資源も一層活用していく必要があります。

家畜衛生では高病原性鳥インフルエンザが国内農場で続発しています。本県では、令和 6 年度、行田市の 1 農場で発生しました。鳥インフルエンザウイルスは渡り鳥が運び、豚熱ウイルスは野生イノシシで感染が広がっているため、いつ農場に入ってもおかしくない状況です。野生動物の侵入防止対策を始めとした農場における飼養衛生管理基準の一層の徹底など、万全の防疫態勢を構築していく必要があります。

さらに、持続的生産や衛生的生産を実践するためのG A Pや農場H A C C Pに取り組み、農場の生産管理を検証する手法の導入も必要となっております。また、畜産物に新たな付加価値を与え所得向上を目指す、6 次産業化への取組み支援にもしっかりと対応しなければなりません。

以上のような情勢を踏まえ、県民の皆様に愛される高品質で新鮮、安全で美味しい畜産物の生産を維持するという、本県畜産に与えられた使命の達成に向け、生産者、関係者が一致団結し取り組んでいくことが重要です。

このため、本会は、国や県、市町村はもとより、農畜産業振興機構、中央畜産会、地方競馬全国協会、農協組織などと緊密な連携を図りつつ、御支援をいただきながら、経営診断指導や畜産クラスター事業等による生産技術向上対策、家畜登録事業や精液配布事業の推進等による家畜改良対策、補給金・補填金等を活用した経営安定対策、特定家畜伝染病の侵入を防止する家畜防疫対策、県産畜産物の消費拡大など、諸事業の推進に総合的に努めてまいります。

畜産会に対する絶大な御支援、御指導を重ねてお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。



農林部長就任の御挨拶

埼玉県農林部長

たけ
竹づめ
詰はじめ
一

本年 4 月に農林部長に就任いたしました、竹詰一でございます。

一般社団法人埼玉県畜産会の皆様には、本県農業、とりわけ畜産の振興に多大なる御尽力、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本県の農業は、大消費地である首都圏へ新鮮で安全な農畜産物を安定的に供給するという重要な役割を担っております。令和 5 年農業産出額は総額 1,636 億円であり、そのうち畜産は 280 億円と野菜に次ぐ基幹的な分野となっています。その一方で、畜産分野は、飼料価格の高騰、家畜伝染病の防疫対策等、多くの課題も抱えています。特に飼料価格は、令和 3 年頃から上昇を続け、現在は高止まりしております。県では、畜産農家の皆様の経営を支援するために、令和 6 年度補正予算で飼料価格の高騰への助成を行いました。今年度も畜産農家の皆様が安定的に経営できるよう、必要な対策を行ってまいります。

家畜伝染病の防疫対策につきましては、近年の豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生状況、近隣諸国におけるアフリカ豚熱や口蹄疫の発生状況を踏まえ、非常に重要な課題となっております。令和 6 年度は、本県においても 1 例の高病原性鳥インフルエンザが発生しました。県では、農場の衛生対策向上の取組への支援策を継続するほか、これら特定家畜伝染病の発生予防、まん延防止に取り組んでまいります。関係者の皆様におかれましても、飼養衛生管理基準の遵守を徹底いただくなど、家畜伝染病の発生予防に努めていただきますよう改めてお願い申し上げます。

また、県では、家畜防疫体制の強化のため熊谷市内に新たな家畜保健衛生所を整備し、令和 8 年度中の開所に向けて準備を進めているところです。この家畜保健衛生所には病性鑑定部門が移管され、より速やかな検査・診断が可能となります。整備にあたりましては、畜産農家の皆様のお役に立てるよう地域に根ざした支援体制の構築を目指してまいります。

一方、令和 2 年度から開発に取り組んでまいりました「タマシャモ」をベースとした卵肉兼用鶏が今年度完成します。軍鶏の血を引く鶏の卵は全国的にも珍しく、一般の鶏卵に比べ黄身が大きくコクがあります。この新しい鶏のブランド名を現在検討しており、生産者への供給は令和 8 年度から開始する予定となっております。

今後とも本県の畜産業の振興に全力で取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県畜産会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心から御祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人埼玉県畜産会 第70回通常総会開催

[令和 7 年 6 月 13 日 午後 2 時～ ホテルヘリテイジ (熊谷市)]

鈴木貞美副会長の開会、清水節男会長の挨拶の後、竹詰一農林部長、中央畜産会武田航部長、大野松茂顧問(元衆議院議員) から来賓の御挨拶を賜りました。

清水会長が議長に選任され議事に入りました。

まず、令和 6 年度の事業報告後、以下の議案を審議しました。

第 1 号議案 令和 6 年度収支決算及び公益目的支出計画実施報告書の承認について

第 2 号議案 令和 7 年度会費の賦課・徴収方法の決定について

第 3 号議案 令和 7 年度借入金最高限度額並びに借入先・預入先金融機関の決定について

第 4 号議案 令和 7 年度役員報酬額の承認について

各議案とも可決承認されました。

閉会に当たり、中村滋副会長より引き続き本会運営への協力依頼があり終了となりました。

なお、畜産会の役員名簿は後掲しておりますので御覧ください。



開 会 (鈴木副会長)



会長挨拶 (清水会長)



来賓祝辞 (竹詰農林部長)



来賓祝辞 (武田部長)



来賓祝辞 (大野顧問)



閉 会 (中村副会長)



令和 6 年度 主要事業の概要

1 生産技術向上対策に関する事業

(1) 畜産経営技術指導事業

畜産経営に関する生産技術や財務管理などを支援

ア 畜産コンサルタント団の設置

イ 個別支援（延べ29戸）

（ア）経営診断に基づく改善方法等の助言

（イ）財務諸表の作成、分析、及び生産技術の助言

（ウ）助言内容の定着を図るための巡回指導

ウ 家畜改良支援

（ア）家畜登録の推進 2,315頭

（イ）優良な凍結精液や受精卵の供給 8,187本

（ウ）共進会の開催等 19頭

エ 情報提供

和牛改良講演会等

(2) 経営革新指導事業（埼玉県）

畜産クラスター事業

（畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業）を果的に推進

ア 機械導入支援 1件

イ 協議会の指導 11件

ウ 利用状況調査、効果確認 29件

(3) 優良繁殖雌牛選抜事業（埼玉県）

和牛繁殖雌牛の枝肉 6 形質、不飽和脂肪酸、牛伝染性リンパ腫抵抗性を遺伝子情報で評価
「食べて美味しい、病気に強い牛」を選抜のための情報収集

ア 調査頭数 11頭

(4) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（中央畜産会）

事業申請取りまとめ、導入機械の現地確認、協議会や取組主体への指導を実施

ア 機械導入取組主体 1 戸（酪農）

イ 導入機械 スキッドステアローダー、バールクラブ、各 1 台

(5) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（全国推進事業）（中央畜産会）

畜産経営の実態を把握するため動向調査を実施した。

ア 調査戸数 15戸

(6) 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT 事業）（中央畜産会）

労働負担軽減・ICT化を図るため、飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入を推進するとともに
利用状況の確認や事業効果を高めるための改善指導

ア 機械導入 1 戸（哺乳ロボット 1 基）

イ 利用状況確認 2 件

(7) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会）

優良な繁殖雌牛の増頭に対し奨励金を交付することにより和牛生産を拡大

ア 交付頭数 33頭（7 戸）

イ 交付金額 3,600,000円（埼玉県肉用牛経営クラスター協議会を通じて交付）

(8) 畜産環境整備リース事業（畜産環境整備機構）

家畜ふん尿の処理等に必要な機械・装置等の貸付け、貸付者への指導

ア 貸付者 0 戸（新規）6 戸（継続）

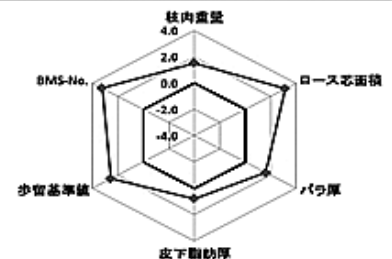
イ 貸付機械 堆肥運搬用ダンプ、ホイルローダー、トラクター 2 台、スキッドステアローダー、ロールベアラー

ゲノミック評価成績報告書



一般社団法人 家畜改良事業団

枝肉 6 形質



- (9) 家畜共進会の開催等
 ア 第58回埼玉県乳牛共進会
 令和 6 年10月19日 (土)
 16頭出品
 埼玉県農業大学校



2 経営安定対策に関する事業

- (1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務受託（農畜産業振興機構）
 肉用牛経営の安定を図るため、肉用牛の交付金業務を円滑に実施し、積立金管理者として制度の普及や支援を行った。
 交付金交付契約者件数（令和 7 年 3 月31日現在） 54件

[交付金交付実績（令和 7 年 3 月31日現在）]

(単位：人、頭、円)

品 種	延交付人数	交付頭数	交付金交付総額
肉専用種	228	4,870	439,699,642
交 雑 種	84	636	10,857,912
乳 用 種	65	1,422	53,816,551
合 計	377	6,928	504,274,105

- (2) 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

[補給金交付頭数及び補給金総額（令和 6 年 1 月～令和 6 年12月）]

(単位：頭、円)

品 種	交付頭数	補給金単価	補給交付金額
黒 毛 和 種	17	182	9,021,700
その他肉専用種	0	0	0
乳 用 種	0	0	0
乳 用 交 雑 種	0	0	0
合 計	17	182	9,021,700

- (3) 鶏卵価格安定対策事業（埼玉県）

鶏卵生産者が鶏卵価格差補てん金の財源として積み立てる生産者積立金のうち、卵価が補てん基準価格を下回った月に係る生産者積立金の一部に助成

- ア 発 動 月 令和 6 年 3 月～ 7 月
 イ 交付農家 12戸
 ウ 助成金額 4,063,589円

- (4) 配合飼料等価格高騰緊急対策事業（埼玉県）

配合飼料等の価格高騰の影響を緩和するため、購入経費の一部を補填した。

- ア 補填数量 42,694 t
 イ 補填金額 414,123,200円 (312戸)

3 家畜改良対策に関する事業

(1) 家畜登録事業（日本ホルスタイン登録協会、日本養豚協会、全国和牛登録協会）

[家畜登録実績]

(単位：件・％)

ホルスタイン種				種 豚				和 牛			
区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画	区分	計画	実績	対計画
血統登録	270	282	104.4	種豚登録	100	151	151.0	子牛登記	1,660	1,613	97.2
移動証明	10	2	20.0	子豚登記	170	154	90.6	基本登録	280	269	96.1
牛群審査	80	105	131.3	子・種移動	40	9	22.5	移 動	50	97	194.0
体型調査	40	70	175.0	黒豚証明他	130	62	47.7	遺伝子型他	440	391	88.9
検定証明	300	389	129.7	そ の 他	60	68	113.3	そ の 他	20	131	655.0
そ の 他	0	16									
計	700	864	123.4	計	500	444	88.8	計	2,450	2,501	102.1



(2) 牛凍結精液配布事業

乳牛、和牛の改良を促進するため、県の窓口団体として凍結精液等の販売を行った。

[配布実績]

(単位：本・％)

区 分		前年実績	本年実績	前年比
(一社) 家畜改良事業団等	乳 牛 (一般)	790	1,220	154.4
	乳 牛 (性別別♀)	1,457	707	48.5
	和 牛	6,028	5,450	90.4
他県・その他授精所等	乳 牛	688	380	55.2
	和 牛	312	430	137.8
合 計		9,275	8,187	88.3

4 家畜防疫体制確保に関する事業

(1) 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省）

ア ヨーネ病対策

まん延防止等のための自主とう汰等を推進

イ 牛伝染性リンパ腫対策

(ア) 牛伝染性リンパ腫検査 1,355頭

(イ) 吸血昆虫の忌避・駆除対策 3 農家

(ウ) 高度感染牛の自主淘汰 0 頭

ウ BVD対策

(ア) BVD検査 1,950頭

エ 農場飼養衛生管理強化対策

獣医師等による衛生指導 農家10戸

- (2) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会）
 伝染性疾病発生時の防疫対応を支援する防疫演習等を実施
- ア 埼玉県特定家畜伝染病防疫演習
 122名参加 伊奈町 令和6年10月17日
- イ 中央家畜保健衛生所特定家畜伝染病防疫演習
 37名参加 さいたま市 令和6年11月8日
- ウ 川越家畜保健衛生所特定家畜伝染病防疫演習
 41名参加 川越市 令和6年9月27日
- エ 熊谷家畜保健衛生所高病原性鳥インフルエンザ防疫演習
 14名参加 熊谷市 令和6年10月4日



- (3) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会）
 ア 委員会・技術講習会の開催
 イ 地域馬獣医療実態調査数 32件
- (4) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会）
- | | | | |
|------------------|------|------|------------|
| ア 馬インフルエンザワクチン接種 | 305頭 | 補助金額 | 1,201,700円 |
| イ 馬鼻肺炎ワクチン接種 | 2頭 | 補助金額 | 24,000円 |
- (5) 獣医師養成確保修学資金供給事業（農林水産省・新規）
 県内の産業動物獣医師への就業を志す獣医学生に修学資金を給付
- | | |
|----------|------------------------|
| ア 対象獣医学生 | 1名 |
| イ 給付額 | 1,440,000円（120,000円／月） |

5 消費者信頼確保に関する事業

- (1) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会）
 - ア 浦和競馬場で畜産フェアの開催 令和 6 年 11 月
「武州和牛の焼き肉」「セイメイファームのプリン」「はちみつ」を特別価格で販売
県産畜産物の W E B でのプレゼント
- (2) 浦和競馬組合場内活性化事業（県浦和競馬組合）
競馬組合 S N S で県産畜産物プレゼント企画を実施
 - ア 深谷牛焼肉セット、バルツバインソーセージ、加藤牧場ジェラート



- (3) 畜産関係広報委託事業（県浦和競馬組合）
浦和競馬を会報等に掲載
畜産関係イベントにおいて地方競馬を P R
- (4) 馬事畜産振興推進事業（馬路畜産振興協議会）
協議会を開催するとともに、令和 6 年 11 月に浦和競馬において、冠レース（8 レース）を開催し地方競馬の振興を図った。
- (5) 地方競馬ミルクウィークへの参加
牛乳消費拡大のため各道府県の畜産会が協力し、競馬場において地域に根ざしたイベントを開催。令和 7 年 3 月に浦和競馬において、乳製品を配布。
- (6) 馬に係る県内伝統行事への支援
秩父神社例大祭御神幸「御神馬奉納ノ儀」（秩父市）、棕神社御田植祭（秩父市）
八幡神社例大祭鉄砲祭り（小鹿野町）、出雲伊波比神社のやぶさめ（毛呂山町）

(7) 彩の国農林業ドリームフェスタに参加

令和 6 年11月16～17日 熊谷文化スポーツ公園

畜産生産者団体と連携し、牛乳・精肉・卵・焼肉・目玉焼トースト・はちみつ等の販売により県産畜産物をPR



6 畜産関係団体の事務受託

各団体の事業計画に基づき、諸事業を推進。

- (1) 埼玉県酪農協会（会員：団体11、個人39、賛助16）
- (2) 埼玉県肉用牛経営者協会（会員：団体 5、個人75、賛助 6）
- (3) 埼玉県養豚協会（会員：団体 7、個人40、賛助31）
- (4) 埼玉県養鶏協会（会員：団体 9、個人16、賛助48）
- (5) 埼玉県養蜂協会（会員：個人126）
- (6) 埼玉県畜産技術振興会（会員：団体10、個人109（繁殖部会109））
- (7) 埼玉県畜産懇話会（会員：団体19）
- (8) 畜産女性いきいきネットワーク埼玉（会員：個人24、団体 5）
- (9) 埼玉県牛群検定組合（会員：個人14）
- (10) 埼玉県粗飼料利用研究会
- (11) 埼玉県秩父高原牧場利用者互助会
- (12) 埼玉県CSF感染拡大防止対策協議会

令和7年度も事業を実施して参ります。
御指導・御協力をお願いします。

家畜保健衛生所機能強化事業について

畜産安全課 総務・畜産企画担当

現在、本県には「中央」「川越」「熊谷」の3つの家畜保健衛生所（以下、家保）がありますが、いずれの家保も当初の建築から40年を超え、施設の老朽化が著しくなるとともに、バイオセキュリティの確保が困難になってきました。

また、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病発生時に使用する防疫資材を家保の敷地外に保管しているため速やかな初動対応に支障があるほか、中央家保及び熊谷家保については周辺の宅地化が進み、敷地内での死体等の焼却処分が行えないなど、一部業務の維持が困難であるとの課題を抱えています。

こうした状況に対応するため、本県では以下のとおり「家畜保健衛生所機能強化事業」を行っています。

- ・ 畜産農家が集中する県北地域に基幹家保を新たに整備
- ・ 農業技術研究センター内に設置されているBSE検査牛処理施設を新家保内に集約
- ・ 特定家畜伝染病発生時の迅速な初動対応が可能となるよう、防疫資材倉庫を新家保敷地内に整備
- ・ 川越家保について改修工事を実施

熊谷市内に建設中の新たな家保は、病原体の拡散リスクを低減させる「BSL3検査室*」を備え、かつ将来的に実質エネルギー消費ゼロが可能となりうる「ZEB Ready」相当であるなど、高いバイオセキュリティレベルと省エネ性能を特徴とする施設であり、令和8年度中に開所となる予定です。

なお、本事業により本県の家保は3か所体制から新家保と川越家保の2か所体制へと再編されます。これにより現在中央家保にある病性鑑定部門を新家保に移管し、畜産農家が集中する県北地域での特定家畜伝染病発生時における病性鑑定材料の搬入時間が短縮されることで迅速な疾病診断の実施及び感染拡大の防止を図ります。

本事業により、家保の業務効率化とバイオセキュリティの向上を図るとともに、より一層の家畜防疫体制の強化を目指していきます。

（*）BSL3：「人の出入りを管理」「専用の前室を附置」「検査室内部を陰圧に維持」する等の条件を満たした高度な病原体封じ込め機能を有するもの



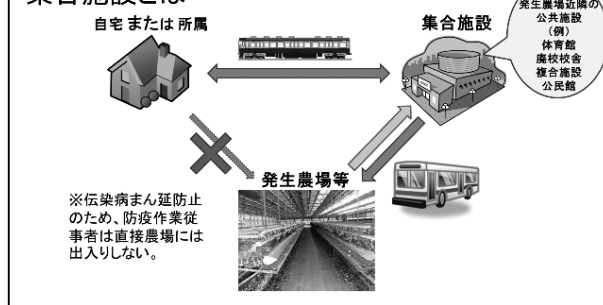
特定家畜伝染病に備えた集合施設運営体制の整備

川越家畜保健衛生所 畜産支援・安全対策担当

1 集合施設とは？

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した場合、発生した農場では原則24時間以内を目安とした殺処分、72時間以内を目安とした死体の焼却・埋却や消毒等の防疫作業が行われます。この防疫作業に当たる農場作業従事者の拠点として、集合施設は原則24時間稼働し、従事者に防護服など必要な装備をさせて農場へ送り出すとともに、農場での作業を終えた従事者を迎え入れる役割を担っています。このため、有事の際に迅速に集合施設の運営が開始できるよう、市町村に候補施設の選定を依頼し、利用可能な施設をリスト化しています。

集合施設とは



従事者の出発前の対応



従事者の帰着後の対応



2 集合施設の運営体制の見直しについて

令和元年9月から11月に県内で豚熱が5例発生し、延べ3,000余人の農場作業従事者が動員されました。この際、集合施設を5か所開設し、延べ35日間運営しましたが、当時の集合施設の運営は川越家畜保健衛生所を中心とした家畜防疫員が全て担っており、運営を担当した職員の負担増大が課題となりました。そこで運営体制の見直しを行い、令和2年度から県内8農林振興センターの職員が運営の主体を担い、家畜保健所職員は施設の選定や情報共有等の運営支援を行う体制とし、農林振興センター職員向けの運営マニュアルを整備しました。

3 特定家畜伝染病発生時の円滑な運営に向けて

令和3年度から令和5年度に県内で高病原性鳥インフルエンザが発生した際には、整備したマニュアルをもとに農林振興センター職員が中心となって集合施設を運営しました。防疫措置終了後には毎回集合施設運営の振り返りを行い、運営に当たった職員の意見等から課題を検討しています。こうした課題や発生の経験を活かし、未経験者でもわかりやすく、読みやすいマニュアルを目指し、見直しを行っています。今後も更なる円滑な集合施設の運営に向け、集合施設演習や候補施設の現地調査確認を継続し、防疫体制の強化を図ってまいります。



集合施設演習の様子

みんなにもっと知ってほしい！畜産のこと ～令和6年度の活動レポート～

熊谷家畜保健衛生所

当所では、畜産業の振興及び畜産物の消費拡大を目指した普及啓発活動を行っています。県民の皆様に畜産への理解を深めていただくため、食育活動や地域イベントを通じて、子どもから大人まで幅広い世代に畜産の魅力とその重要性を伝えています。令和6年度に実施した主な取組を紹介します。

1 小学生が酪農家を訪問！牛ってこんなにすごい

実施日：令和6年9月3日／対象：深谷市立花園小学校2年生

内 容：児童たちは、牛舎を見学しながら牛の暮らしや酪農の仕事について学びました。楽しみながら理解を深められるようクイズを交えながら案内や説明を行いました。牛の食べ物や搾乳の仕組みなど、普段の生活ではなかなか知ることができない話に、興味津々で、酪農の世界にぐっと近づいた一日になりました。



2 わくわくモーモースクールで命の大切さを体感

実施日：令和6年11月5日、20日、12月16日／対象：小学生（3校）

内 容：酪農家が、小学校に牛を連れて行き、講師となって牛乳ができるまでの過程や命を育てることの大切さを伝える授業を行いました。搾乳や子牛とのふれあいを体験した児童たちからは、「かわいい!」「すごい!」という声が上がりました。畜産の現場を体感し命のぬくもりを感じながら、食や命への理解を深める時間になりました。



3 出前講座で「食の安全」を学ぶ

実施日：令和6年10月29日／対象：児玉高等学校生物資源科の生徒

内 容：酪農の仕事の流れや衛生管理の工夫について説明した後、衛生測定機器を使った体験学習を行いました。実際の現場で行われている安全管理を肌で感じた生徒たちからは、食の安全に対する意識が高まっている様子がうかがえました。講座を通じて、酪農の現場での工夫や努力を知り、食べ物の安全・安心について自分ごととして捉えている様子でした。



4 地域イベントで畜産をもっと身近に

実施日：令和6年11月30日／対象：一般県民（羽生市農業まつり）

内 容：牛乳や豚肉の生産過程を紹介するパネル展示を行いました。畜産農家も参加し、消費者との交流の場が生まれました。生産者の声に直接触れることで、県産畜産物への信頼や安心感が高まり、地元の畜産物をもっと積極的に選びたいと思ってもらえるきっかけとなりました。



このような活動を通じ、畜産の役割や価値について県民の皆様に理解を深めてもらう一助となったのではないかと考えています。今後も、畜産の魅力を発信する活動に取り組んでまいります。

秩父高原牧場だより

●今年度の放牧が始まっています

今年度も4月より預託牛・県有和牛の放牧を開始しています。



【放牧中の預託牛】



【放牧中の県有和牛】

7月末までに3群計49頭の放牧を行いました。当牧場では放牧群を形成するとき、特に預託牛では牛の大きさや下牧のタイミングが近い牛を揃えています。現在放牧している預託牛・県有和牛はすべて妊娠牛で、分娩が近くなった牛のみ順次牛舎に帰ってきたのち、下牧や出産の準備にかかります。



【放牧終了後分娩した県有和牛】

今年度はさらに1群、今年度入牧した比較的小さい預託牛の群を放牧予定しており、現在馴致放牧（放牧に伴う外環境・飼料・牛群の変化に慣れさせるための放牧）を行っています。

●たい肥の配布を行いました

家畜を飼養するうえで、避けられないのがふん尿の排泄物の処理です。

秩父高原牧場では、ふん尿はたい肥化し、一部は採草地へ還元しますが、残りは近隣の農家さんへ無料で配布をしています。



【たい肥の袋詰め・積み込み】

農家さんへのたい肥の配布は年3回、2日間に分けて行っています。1日目は袋詰め（各自用意した袋へたい肥を詰める形式）、2日目は積み込み（軽トラの荷台に直接たい肥を積み込む形式）で行い、毎回朝から行列ができるほどたくさんの方に利用頂いています。たい肥の配布はどなたでも利用可能です。ご興味のある方は、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

埼玉県秩父高原牧場 育成・ふれあい担当

電 話：0494-65-0311

F A X：0494-65-0811

牛乳消費拡大のため「地方競馬ミルクウィーク」に参加しました

国内の生乳消費の落ち込みが予想される年度末、3/14(金)～3/20(祝木)の7日間を「地方競馬ミルクウィーク2025」と銘打ち、各道府県の畜産協会が協力し、競馬場にて地域に根差した生乳消費拡大を図りました。本会は3月19日(水)・20日(木)の2日間、浦和競馬場の来場者に対して「榎本牧場 飲むヨーグルト」や県産生乳90%を使用した「ミルクコーヒー」などの無料配布を行いました。



【乳製品配布：浦和競馬場所属騎手、浦和競馬キャラクター「ウラワール」も参加】

桶川市べに花まつりで桶川牛乳を販売しました

令和7年6月14日(土)・15日(日)、道の駅べに花の郷おけがわで、「第25回べに花まつり」が開催され、市内外から多くの来場者が訪れました。桶川市畜産振興協議会は「桶川牛乳」を販売しました。「桶川牛乳」は、全農さいたまの協力でイベント限定で生産されており、桶川産の生乳を、「牛」と「べに花」のイラストが入ったガラス瓶に充填したものです。販売ブースでは、酪農家の写真パネルの展示や牛乳消費拡大のためのグッズ配布もありました。ガラス瓶のレトロなデザインも好評で、瓶の牛乳を飲んだことがないお子さんには珍しかったようです。



【牛乳販売】



【牛乳販売】

第16回全日本ホルスタイン共進会が開催されます

開 催 期 日	令和 7 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）
開 催 場 所	北海道勇払郡安平町
出 品 頭 数	400 頭（ホルスタイン 368 頭、ジャージー 32 頭）
埼玉県出品頭数	ホルスタイン 3 頭

【全日本ホルスタイン共進会とは】

- ・全国の代表が乳牛の理想の体型に向けた改良技術を競う。
- ・2020年の第15回大会が新型コロナウイルス禍で中止となったため10年ぶりの開催
- ・主催は国内のホルスタインの血統登録業務などを手がける日本ホルスタイン登録協会
- ・おおむね5年に1度の開催のため「乳牛のオリンピック」とも呼ばれる。
- ・全国から優れた牛とその生産者が一同に会し、技術向上や仲間づくりができることが魅力。

【審査方法は】

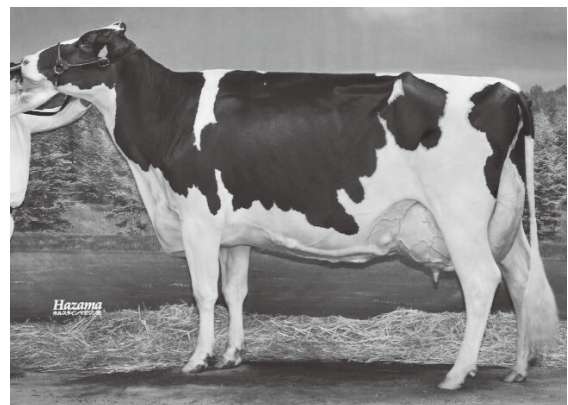
- ・生年月日や未経産牛か経産牛かで区分された20の部門ごとに牛の骨格や乳器などを審査。
- ・家畜改良センターの入江正和理事長が審査委員長を務める。
- ・成績上位牛の中から大会で最も優れた牛に「最高位賞」の栄冠が与えられる。
- ・次世代育成への初の試みとして高校出品牛の中から最高位牛を決める「ハイスクール・デیلیー・グランプリ」も行う。



【 会 場 】



【 審 査 】



【前回名誉賞獲得牛】

イベント・行事予定

1 令和 7 年度和牛登録審査研修会

研修内容：和牛登録に係る基本的な知識と技術について、講義及び実習を実施。

講義の部	令和 7 年 10 月 1 日(水) 14:00~17:00	埼玉県農林公園 第 2 研修室 (埼玉県深谷市本田5768-1)
実習の部	令和 7 年 10 月 2 日(木) 9:00~16:00	秩父高原牧場 (埼玉県秩父郡東秩父村大字坂本2951)

参集範囲：埼玉県、埼玉県農業共済組合、農業協同組合、産業獣医師等

2 共進会の計画

肉牛：日時：令和 7 年 11 月 10 日(月)

場所 さいたま食肉市場 30頭出品

養豚：日時：令和 7 年 11 月 7 日(金)

場所 さいたま食肉市場 100頭出品

乳牛：日時：検討中

場所 埼玉県農業大学校 20頭出品

養蜂：日時：令和 7 年 11 月 23(木)・24日(金)

場所 さいたま教育会館 180点



3 浦和競馬畜産フェア

日 時：令和 7 年 11 月 25 日(火)~28 日(金)

会 場：浦和競馬場

冠レースの実施や県産畜産物プレゼントなどを通じて
埼玉県の畜産をPRします。



4 おいしさいっぱい畜産フェア

「彩の国食と農林業ドリームフェスタ」と同時開催。
県産農畜産物をPRする県内最大規模の農業イベント
県産畜産物や加工品の試食販売を行います。

日 時：令和 7 年 11 月 15 日(土)~16 日(日)

会 場：熊谷スポーツ文化公園



畜産団体の活動状況

埼玉県酪農協会総会

期 日：令和 7 年 7 月 5 日（金）
場 所：農林公園（深谷市）
会 長：高田 茂
副会長：森 紀之、戸田 喜裕、岩崎 真一

埼玉県粗飼料利用研究会総会

期 日：令和 7 年 7 月 4 日（金）
場 所：農林公園（深谷市）
会 長：高田 茂
副会長：嶋田 治彦、時田 博

研 修 会

演 題：「哺育管理を見直そう！ー良い乳牛は良い子牛からー」

講 師：全国酪農業協同組合連合会 酪農技術研究所

副審査役 村山 恭太郎 氏



埼玉県養鶏協会総会・研修会

期 日：令和 7 年 6 月 17 日（火） 場 所：キングアンバサダーホテル（熊谷市）

会 長：齋藤 大天

副会長：松本 邦義、栗原 忠寿、境野 修二、一柳 憲隆

演 題：鶏種の特徴と育種の方向性

(株)ゲン・コーポレーション

営業部門 広瀬 毅 氏

講 師：デカルブ・ホワイトの特性及び今後の動向

アイエスエージャパン

後藤 直樹 氏



埼玉県養豚協会総会・研修会

期 日：令和 7 年 6 月 20 日（金） 場 所：熊谷スポーツホテル（熊谷市）

会 長：上原 章男

副会長：笠原 弘久、新井 勝、坂本 和彦、清水 由香

演 題：日本養豚協会の活動状況や会費の見直しについて

講 師：（一社）日本養豚協会

専務理事 鋤柄 卓夫 氏

演 題：最新の種豚情報と育種改良について

講 師：（有）シーエフ東日本

代表取締役社長 橋本 吉男 氏



埼玉県畜産技術振興会総会

期 日：令和 7 年 6 月 18 日（水）
 場 所：ホテルヘリテイジ（熊谷市）
 会 長：川田 隆作
 副会長：蜂須 孝政、森 紀之、長島 登

埼玉県肉用牛経営者協会総会

期 日：令和 7 年 6 月 18 日（水）
 場 所：ホテルヘリテイジ（熊谷市）
 会 長：長谷川 桂一
 副会長：山下 勝、森島 了、金子 健司

研 修 会

演 題：「猛暑に備えた繁殖管理の点検について」
 講 師：日本獣医生命科学大学
 名誉教授 牛島 仁 氏

**埼玉県養蜂協会総会・研修会**

期 日：令和 7 年 2 月 27 日（木） 場 所：農林公園（深谷市）
 会 長：金子 英樹
 副会長：高田 勇、間室 治
 演 題：「養蜂に係る基礎知識の整理と展開」
 講 師：株式会社ビーファイブジャパン
 渡辺 宏（獣医師）氏

**畜産女性いきいきネットワーク埼玉総会・交流会**

期 日：令和 7 年 6 月 11 日（水）
 場 所：ワモア川本（深谷市）
 会 長：谷口 知子
 副会長：加藤 恵美子、内田 美智子
 テーマ：「彩農ガールズ 長瀬福島農園
 いちごジャム作り&加藤牧場 バター作り」

**畜産懇話会研修会**

期 日：令和 7 年 3 月 4 日（火） 場 所：ホテルヘリテイジ（熊谷市）
 会 長：清水 節男
 講 師：全国農業協同組合連合会 畜産生産部
 推進・商品開発課 課長代理
 森本 哲生 氏
 演 題：「系統飼料事業の現状と今後の取組み」



一般社団法人 埼玉県畜産会 役員名簿

(令和 7 年 9 月 1 日現在)

職 名	出 身 団 体 ・ 職 名	氏 名
会 長	全国農業協同組合連合会埼玉県本部運営委員会副会長	清 水 節 男
副 会 長	埼玉県農業共済組合副組合長	鈴 木 貞 美
副 会 長	(公社) 埼玉県獣医師会会長	中 村 滋
理 事	埼玉県農業協同組合中央会専務理事	小 池 和 明
理 事	(一社) 埼玉県配合飼料価格安定基金協会理事長	松 本 邦 義
理 事	市長会 (熊谷市長)	小 林 哲 也
理 事	町村会 (神川町長)	櫻 澤 晃
理 事	埼玉県調教師会会長	野 口 孝
理 事	埼玉県酪農協会会長	高 田 茂
理 事	埼玉県肉用牛経営者協会会長	長谷川 桂 一
理 事	埼玉県養豚協会会長	上 原 章 男
理 事	埼玉県養鶏協会会長	齋 藤 大 天
専 務 理 事	学識経験者	丸 山 盛 司
監 事	埼玉県信用農業協同組合連合会常務理事	森 田 純 司
監 事	さいたま食肉市場(株)代表取締役	金 子 健 司

(一社) 埼玉県畜産会事務分掌表

令和 7 年 6 月 1 日 現在

職 ・ 氏 名		事 務
常勤役員	専務理事 丸 山 盛 司	会務運営統括農林公社、農業共済組合、農業会議、農場管理獣医師会 ドリームフェスタ実行委員会、事務局（埼玉県畜産懇話会）
事務局	事務局長 武 末 寛 子	事務局統括、総務・財務・経理等の総括、各部の調整 地域畜産支援指導等体制強化事業、浦和競馬関係事業 事務局（県粗飼料利用研究会、秩父高原牧場利用者互助会、馬事畜産振興協議会）
総務部	部 長 中 島 智 子	総務部業務の総括、会務全般事務、畜産振興補助事業、基金事業の資金管理 団体事務局（県養蜂協会）
	専門員 松 尾 奈緒美	経理・文書管理・勤務管理事務、肉用子牛生産者補給金制度業務
	臨時職員 松 本 祐 子	経営安定対策・家畜登録事業・牛凍結精液配布事業の作業補助
	臨時職員 高 瀬 美由紀	総務部及び事業推進部事業の補助
事業推進部	主 幹 安 里 誠	事業推進部業務の総括、経営診断業務の総括、鶏卵安定対策事業、事務局（県養鶏協会） 肉用子牛生産者補給金制度業務、貸付事業（畜産環境整備機構、畜産近代化リース）
	主 幹 木 村 紀美江	家畜改良業務の総括、牛凍結精液配布事業、乳牛登録、家畜改良事業 事務局（県酪農協会、牛群検定組合、県畜産技術振興会）
	主 任 吉 田 英 樹	登録業務（豚・和牛）、和牛改良事業全般、畜産経営技術指導事業 畜産クラスター全国実態調査、ホームページ・会内ネットワーク管理業務 事務局（県養豚協会・県肉用牛経営者協会）
	技 師 秋 庭 美 鈴	（育休中）
	主 事 坂 田 さゆり	肉用牛肥育経営安定交付金制度業務、埼玉県養蜂協会（物資幹旋） 事務局（畜産女性いきいきネットワーク埼玉）
	嘱託職員 加 藤 幸 彦	家畜衛生事業全般、畜産クラスター事業（機械導入） 畜産 ICT 事業・酪農緊急パワーアップ事業

埼玉県畜産関係幹部職員名簿

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

農 林 部

部 長 竹 詰 一
副 部 長 松 澤 純 一
副 部 長 長谷川 征 慶
食品衛生安全局長 坂 梨 栄 二

畜 産 安 全 課 (Tel 048-830-4170)

課 長 渡 辺 志 保
家畜衛生幹 吉 田 輝 美
副 課 長 見 砂 慎 一
主 幹 宮 田 基
主 幹 梅 野 杏 奴
主 幹 土 門 尚 貴

中央家畜保健衛生所 (Tel 048-663-3071)

所 長 河 津 理 子
副 所 長 清 水 博 之
担当部長 加 島 恭 美
担当部長 山 本 信 義
担当部長 山 岸 聡 美
担当部長 平 田 文 吾

川越家畜保健衛生所 (Tel 049-225-4141)

所 長 伊 藤 麗 子
副 所 長 福 田 昌 治
担当部長 佐 竹 吉 人

熊谷家畜保健衛生所 (Tel 048-521-1274)

所 長 中 島 敏 行
副 所 長 益 岡 奈津樹
担当部長 平 田 圭 子
担当部長 荒 井 理 恵

秩 父 高 原 牧 場 (Tel 0494-65-0311)

場 長 馬 場 未 帆
担当部長 原 嶋 敦 司

農業技術研究センター (Tel 048-536-0311)

所 長 戸井田 幸 夫

農業革新支援担当 (Tel 048-536-6034)

部 長 田 口 清 明
担当部長 岸 保 宏

酪農・養豚・養鶏担当

室 長 中 村 嘉 之

酪農担当 (Tel 048-536-0440)

担当部長 大 澤 玲

養豚・養鶏担当 (Tel 048-536-0440)

担当部長 平 野 晃 司

農業大学校 (Tel 048-536-6848)

校 長 野 口 雄一郎
教務主幹 青 山 達 也
教務主幹 高 田 新一郎

さいたま農林振興センター (Tel 048-822-2492)

所 長 平 井 敏 一

川越農林振興センター (Tel 049-242-1808)

所 長 吉 岡 幸 夫

東松山農林振興センター (Tel 0493-23-8532)

所 長 斉 藤 幸 市

秩父農林振興センター (Tel 0494-24-7211)

所 長 永 留 伸 晃

本庄農林振興センター (Tel 0495-22-6156)

所 長 宮 坂 一

大里農林振興センター (Tel 048-523-2812)

所 長 中 里 和 重

加須農林振興センター (Tel 0480-62-4771)

所 長 木 村 眞 司

春日部農林振興センター (Tel 048-737-2134)

所 長 吉 田 有紀彦

浦和競馬組合 (Tel 048-881-1551)

副 管 理 者 石 井 貴 司
競争業務課長 吉 田 徹
主 幹 亀 田 光 澄
野田管理事務所長 宮 本 賢 一

みどり自然課 (Tel 048-830-3143)

野生生物担当主査 松 本 裕 治

・各所属とも主幹級以上、農林振興センターは所属長、埼玉県浦和競馬組合は副管理者及び獣医師、みどり自然課は主査の方々を掲載させていただきました。

令和7年度（2025年度）8月～12月 南関東地方競馬開催日程

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	船橋				川		崎					大		井		浦			和				川			崎			船	橋	
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
	大		井						川		崎				大	井						浦		和					船	橋	
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	船	橋				大		井					川		崎					大	井						浦		和		
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
			船		橋						大		井				川		崎							浦		和			
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
		大			井				船		橋				川		崎					浦		和		大				井	

←→

は昼間・薄暮（はくぼ）開催

←→

はナイター開催

★印

はダートグレード競走

●印

は南関東重賞競走

南関東4競馬場オフィシャルサイト

オフィシャルホームページ（全レース実況・録画中継無料配信中）

<http://www.nankankeiba.com/>（携帯）<http://www.nankankeiba.com/mobile/>

※通信料はお客様の負担となります。



SPAT4会員募集中！ お申し込みは今すぐ！

<http://www.spat4.jp/>

フリーダイヤル 0120-006-309（開催日 昼間開催 10:00～17:00 ナイター開催 12:00～21:00）



テレホンサービス

レース結果

実況中継

☎ 0570-011-555

☎ 0180-993-400

※PHS・一部の携帯電話からはご利用になれません。

※おかけ間違いにご注意ください。



浦和競馬

浦和競馬オフィシャルサイト

<http://www.urawa-keiba.jp/>

地方競馬情報サイト

<http://www.keiba.go.jp/>地方競馬全国協会からのご案内
（馬主になりませんか！）

「地方競馬の馬主になりたい」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬情報サイト（<http://www.keiba.go.jp/>）でもご覧になれます。

担当：審査部登録課 電話：03-3583-2142

浦和競馬へ行こう！



近さが魅力の浦和競馬。
白熱したレースが間近で観戦できます。

指定席予約サイトがオープンしました！
事前のご予約で快適にお過ごしいただけます。

開催情報など詳しくは
浦和競馬 HP をチェック！



WINS

ウインズ浦和
(浦和競馬場)

浦和競馬場ではJRAが開催する日曜日・祝日及び
G I 開催週の土曜日（代替開催を除く）に
勝馬投票券の発売・払戻を行っています。

※浦和競馬公式ホームページ等で営業日・営業時間等をご確認の上、ご来場ください。



【浦和競馬場へのアクセス】

JR浦和駅東口より徒歩15分

JR南浦和駅東口より無料送迎バス5分

【ホームページ】<https://www.urawa-keiba.jp/>

【所在地】さいたま市南区大谷場 1-8-42 【TEL】048-881-1551